

衛生指導課 NEWS

農場の衛生管理にHACCP方式を導入しましょう。

I. HACCP方式とは

HACCP方式は、食品の安全性を確保しようとする新しい衛生管理方式です。

1. HACCP方式

① HACCPは、Hazard (危害) Analysis (分析) and Critical (重要) Control (管理) Point (点) の頭文字をとった略称です。わが国では、そのままローマ字読みでエッチ エー シー シー ピーと呼んでおり、「危害分析重要管理点」と訳されています。

② HACCP方式は、1960年代、米国が月旅行を行うアポロ計画を進める中で、宇宙食の高度の安全性確保のために開発された衛生管理方式です。

③ その方法とは、食品の生産段階から製品までの全工程において、

ア、 危害の原因となり得る原材料又は工程を特定し (危害分析: HA)、

イ、 危害の発生を防止するための管理手続きを設定し (重要管理点: CCP)、

ウ、 重要管理点の監視・記録を管理手続きに従って機械的に行うことにより危害の発生を防止し、管理手続きの遵守状況の確認も行うことにより、食品の安全性を確保するという衛生管理方式です。

④ このように、従来の食品の安全性確保方式は最終製品の抜き取り検査と危害が発生した後の対応に重点が置かれていたのに対し、HACCP方式は安全性の確保に関して、製造工程の全体を見渡して危害発生防止のための管理点を決め、そこに集中した衛生管理を常時実施し、記録をとり、記録を確認することにより工程全体の安全性を保証しようとするもので、危害発生の予防に重点を置いた管理手法です。

2. HACCP方式を適用するための国際指針

食品の生産段階の全てにHACCP方式の導入を推進して安全性を確保する。

(1) 食肉の衛生取扱規範

HACCP方式による食品の衛生管理方式は米国で1971年に初めてその概要が公表され、その後、国連食料農業機関 (FAO) と世界保健機関 (WHO) の合同で開催する合同食品規格計画 (CODEX) 委員会で検討が進められた結果、1993年に「食肉の衛生取扱規範」として決議され、翌1994年に加盟各国に勧告されました。

この食肉についての規範では、食中毒被害の拡大、安全性に対する消費者の関心の高まりを背景として、と畜場以降の食肉の製造・加工段階の安全性確保対策に加え、川上の生産農場 (農家) 段階における安全性確保対策が入っています。生産農場段階に関する勧告は、次のようになっています。

① 生産農場段階における監視・検査体制の整備
家畜の生産環境は、「生産」から「出荷」に至るまで、食肉を生産する場所として衛生面に十分配慮する。飼養家畜の衛生状態については、監視方法を定め、定期的に検査を行う。

② 出荷時の獣医師による衛生検査の実施
生産者は、家畜が食用に適しているか否かに関する獣医師の証明書なしに家畜をと畜場に出荷すべきではない。

③ と畜場の検査成績の通報
と畜場における家畜の個体検査結果は、その家畜の「出荷農場」まで伝達されなければならない。このためには、十分な情報伝達体制を確保することが必要である。

④ と畜場の検査成績の活用
出荷され、と畜された家畜の食肉衛生検査成績の連絡を受けた出荷農家は、それを活用し、食肉の安全性確保対策を確実なものとする。

⑤ 家畜疾病の撲滅対策の推進
家畜の「生産」から「と畜場への搬入」まで、

行政府が家畜の健康と食肉の安全性確保のための検査体制を整備し、法令により家畜疾病の撲滅対策を講じる。

⑥ 動物用医薬品等の食肉中への残留防止策の推進
家畜の「生産」から「と畜場への搬入」まで、行政府は家畜に対する化学物質（動物用医薬品等）の投与について、食肉中に残留しない対策を整備する。

⑦ 食品の生産段階の全てにおけるHACCP方式を用いた衛生管理体制の整備

食品の「生産農場段階」の全てにおいてHACCP方式を用いた監視体制を行政府は推奨すべきである。

この「衛生取扱規範」は、と畜場に入る前の生産農場段階において、家畜に関する安全性を生産者自ら確認したものについてのみ出荷することを求め、その一つの方法として、HACCP方式の導入を推奨しています。

新潟県ではHACCPを導入した クリーンポーク認定事業を 実施しますので紹介します。

1. 目的

HACCP方式の養豚場への普及を推進し、本方式を導入した養豚場を安心（衛生）農場として認定することにより、生産された豚肉の有利販売を促進し、もって県産豚肉の消費拡大、生産拡大に資する。

2. 目標・計画

目標

- 事業期間中に40戸を安心農場として認定する。
- 認定農場から生産される豚肉を安心ブランド（クリーンポーク）として差別化し有利販売を促進する。

事業計画

	14年度	15年度	16年度
・ 促進協議会	←→		
・ 研修会	←→	←→	
・ 獣医師定着	←→	←→	←→
・ 事業 P R	←→	←→	
・ 認定協議会		←→	←→

3. 事業内容

(1)生産現場へのHACCP方式導入

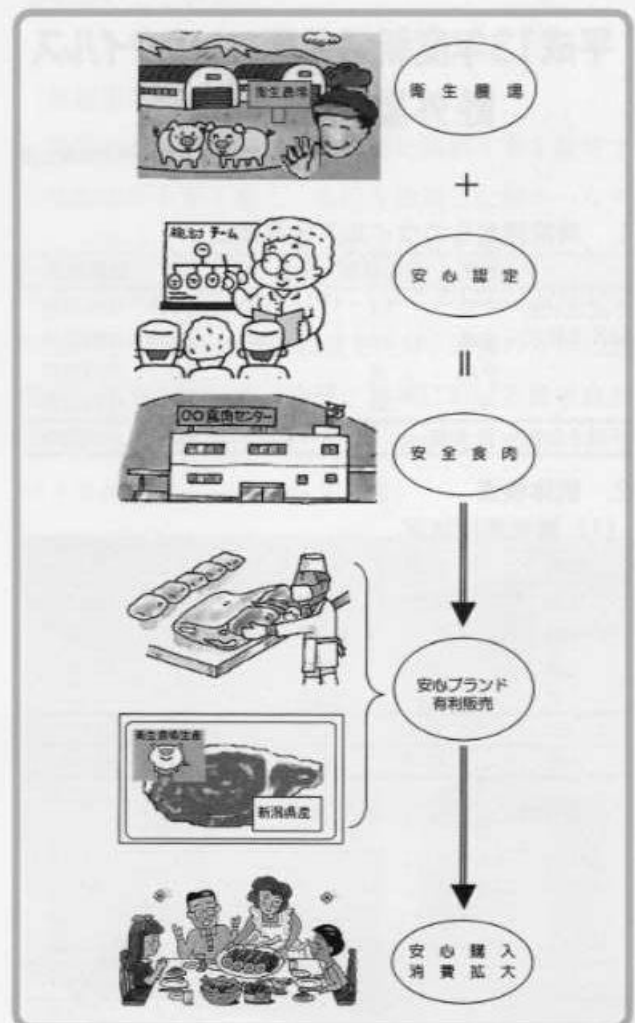
- ① 事業主体：県
- ② 事業実施期間：14年～15年度
ア、普及定着促進協議会
イ、研修会（獣医師、生産者）
- ③ 事業主体：生産者等
- ④ 事業実施期間：14年～16年度
ア、衛生管理獣医師定着
（獣医師による衛生指導費補助）

(2)認定制度の整備

- ① 事業主体：生産者団体等
- ② 事業実施期間：15年度～
ア、安心農場認定協議会
イ、安心認証シールの発行

(3)有利販売

- ① 事業主体：県
- ② 事業実施期間：14年～15年度
ア、事業、制度のPR



新潟県における豚コレラウイルス 野外動態調査成績

中央家畜保健衛生所

平成8年度より豚コレラ撲滅体制確立対策事業が開始され、全国的にワクチン接種率が向上し、豚コレラが発生する可能性が極めて低いことが明らかとなり、平成12年度10月以降原則として全国的に豚コレラワクチンの接種が中止されました。当県でも一昨年10月に豚コレラワクチン接種を中止し、その後の豚コレラの清浄性の確認のため、豚コレラウイルス野外動態調査を実施しており、その検査結果の一部を報告します。

新潟県では昭和57年以降、全国では平成4年以降豚コレラの発生がなく、平成14年2月末現在、全国のワクチン接種中止農家は全飼養戸数の93.5% (9,745戸) で、うち92.5% (9,015戸) の清浄性が確認されています。

平成13年度新潟県豚コレラウイルス 野外動態調査成績

中央家畜保健衛生所病性鑑定課

1. 異常豚からのウイルス抗原検出

	地域	市町村数	検査戸数	頭数	検査結果
平成13年度 12月末現在	中央	14	19戸	57頭	全例陰性
	下越	8	13	59	全例陰性
	中越	6	7	23	全例陰性
	計	28	39	139	全例陰性
平成8年度～12年度			109戸	367頭	全例陰性

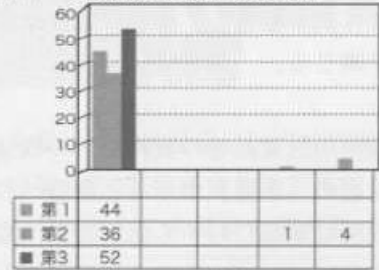
2. 抗体検査

(1) 検査実施状況

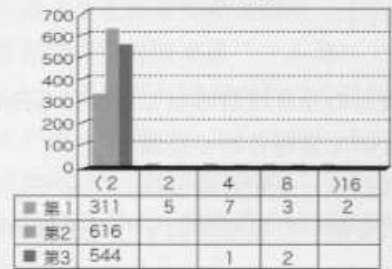
地域	第1四半期		第2四半期		計	
	検査戸数	検査頭数	検査戸数	検査頭数	検査戸数	検査頭数
中央	22戸	125頭	38戸	198頭	60戸	323頭
下越	21戸	102頭	57戸	319頭	78戸	421頭
中越	26戸	120頭	19戸	110頭	45戸	230頭
上越	5戸	25頭	6戸	30頭	11戸	55頭
計	74戸	372頭	120戸	657頭	194戸	1,029頭
H12	60戸	300頭	59戸	283頭	119戸	583頭
第3四半期		第4四半期		計		
43戸	125頭	—	—	103戸	538頭	
43戸	233頭	—	—	121戸	659頭	
24戸	120頭	—	—	69戸	353頭	
5戸	28頭	—	—	16戸	83頭	
114戸	599頭	—	—	309戸	1,633頭	
77戸	382頭	109戸	609頭	305戸	1,574頭	

(2) 抗体保有状況

繁殖豚等の抗体保有状況



抗体価



繁殖豚等は、繁殖候補豚（6か月齢以下）がほとんどであり、豚コレラワクチン未接種で抗体は保有していなかった。また、抗体を保有していた豚は、昨年までワクチン接種を行っていました。

肥育豚で抗体を保有している豚は、3か月齢以下で、移行抗体と考えられます。

(参考)

平成12年度上半期

種別	検査頭数	抗体価												
		<2	2	4	8	16	32	64	128	256	512	1024	>1024	
繁殖等	25	3	1	2	1	6	16	15	20	9	7	2		
肥育	496	31	3	2	18	21	43	78	90	99	79	26	6	
合計	278	24	2		5	7	19	44	50	60	43	18	6	

平成12年度下半期

種別	検査頭数	抗体価				
		<2	2	4	8	>16
繁殖等	83	10	2	7	9	55
肥育	801	85	69	109	72	466
合計	884	95	71	116	81	521

平成12年10月以降抗体検査の希釈が16倍までとなった。
※下段はワクチン未接種豚

3. まとめ

以上のとおり、異常豚からのウイルス抗原検出では、全例陰性であり、抗体検査において、平成12年10月のワクチン接種中止以降は抗体保有率は徐々に減少し、平成13年度は、3か月齢以下の豚が抗体保有しており、この抗体は、母豚がまだ抗体を保有していることから移行抗体と考えられ、野外ウイルスの存在を示唆する結果は得られていません。